

各自の思考を深めるアクティブ・ラーニングを目指して ー地球環境問題の30年後の「シナリオ」を考えるー

- 1 科目名 現代文B
- 2 単元名 評論
- 3 教材名 村上陽一郎「環境問題と科学」
(段落わけ・問題プリント①～④・「シナリオ」を考えよう①～③)

4 単元の内容

単元の目標 と評価規準 ・評価方法	<p>①単元の目標</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ア 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現しようとする。 (関心・意欲・態度)</p> <p>イ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現する。 (話す能力・聞く能力)</p> <p>ウ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにする。 (知識・理解)</p> </div> <p>②単元の目標設定の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた課題に対して実直に取り組むという真面目な姿勢は見られるが、とかく受け身になりがちで、自分から積極的に課題を見つけて解決していこうという姿勢があまり見られない。地球環境問題は将来を担う高校生たちにとって避けては通れない課題であり、他人任せではなく各自が当事者意識をもって考えて欲しいとの願いから設定した。また、本文中にも述べられているように、現代の社会や人間の在りようを考察していくためには様々な領域の知をもとに総合的に物事を捉えていかななくてはならず、そうした多角的なものの見方を涵養する機会にしたいと考えた。 <p>③中心となる学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室とPC室を利用し、地球環境問題について調べ学習を行う。最終的に調べた内容をもとにグループ発表を行う。グループは、発表グループ (A) と調べ学習グループ (B) の二つのパターンを編成する。調べ学習の際は、「気候変動」「エネルギー問題」「グローバル経済」「最先端科学」「価値観の対立」などいくつかの視点ごとに各発表グループ (A) から代表して調べる者を選び、それぞれの視点ごとに調べ学習グループ (B) を作って調べ (エキスパート活動)、その内容をまた各自の表グループ (A) にもちよって (ジグソー法)、発表内容を考える (クロストーク)。 <p>④言語活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自がそれぞれの責任をもたなければならないエキスパート活動とジグソー法を行うことにより、他人任せの生徒が出ない活動を意図した。同時に、グループによる考えをまとめる前に生徒各自で自分が想定する「シナリオ」を独自に考える学習活動を設けることにより、各自の学びを深めるというアクティブ・ラーニングの本質を目指した。また図書室やPC室と連携することで、情報検索能力や処理能力の伸長も狙った。 <p>⑤評価</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 35%;">評価規準</th> <th style="width: 30%;">評価方法</th> <th style="width: 25%;">状況Cの生徒への対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;">関心・意欲・態度</td> <td>①主体的に情報収集し、グループ活動に貢献している。 ②積極的に意見交流し、グループ活動に貢献している。</td> <td>観察 (机間指導) (発言) 点検 (プリント)</td> <td>・調べるべき項目をより具体的に指示する。 ・話し合いが円滑に進むよう適宜助言する。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">読む能力</td> <td>①「シナリオ」の考え方について、本文の内容に即して理解している。 ②地球環境問題について様々な視点から考察している。</td> <td>観察 (机間指導) (発言) (発表) 点検 (プリント)</td> <td>・教科書本文やノートに戻って、学習内容を確認する。 ・自分が調べた項目は、グループ内では誰も調べていないはずなので、まずは情</td> </tr> </tbody> </table>		評価規準	評価方法	状況Cの生徒への対応	関心・意欲・態度	①主体的に情報収集し、グループ活動に貢献している。 ②積極的に意見交流し、グループ活動に貢献している。	観察 (机間指導) (発言) 点検 (プリント)	・調べるべき項目をより具体的に指示する。 ・話し合いが円滑に進むよう適宜助言する。	読む能力	①「シナリオ」の考え方について、本文の内容に即して理解している。 ②地球環境問題について様々な視点から考察している。	観察 (机間指導) (発言) (発表) 点検 (プリント)	・教科書本文やノートに戻って、学習内容を確認する。 ・自分が調べた項目は、グループ内では誰も調べていないはずなので、まずは情
	評価規準	評価方法	状況Cの生徒への対応										
関心・意欲・態度	①主体的に情報収集し、グループ活動に貢献している。 ②積極的に意見交流し、グループ活動に貢献している。	観察 (机間指導) (発言) 点検 (プリント)	・調べるべき項目をより具体的に指示する。 ・話し合いが円滑に進むよう適宜助言する。										
読む能力	①「シナリオ」の考え方について、本文の内容に即して理解している。 ②地球環境問題について様々な視点から考察している。	観察 (机間指導) (発言) (発表) 点検 (プリント)	・教科書本文やノートに戻って、学習内容を確認する。 ・自分が調べた項目は、グループ内では誰も調べていないはずなので、まずは情										

		③地球環境問題について自分の考えをもち、グループ全体として意見をまとめることができる。		報交換という面から話し合いに参加するよう促す。
	知識・理解	①語句の意味、用法を的確に理解している。	点検（プリント）	・文脈から意味を類推するよう助言する。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> 調べ学習、グループ発表等では、生徒は積極的に活動することができた。 「グローバル経済」など、調べる項目そのものの範囲が広く難しいものがあった。調べるべき項目によって負担の軽重にやや偏りができてしまった。 図書室の資料と、学校のPCで調べることができる情報、そして調べ学習の時間には限りがあるため、グループによって参考資料の多寡ができてしまった。 調べる項目と地球環境問題とをどのように結び付けて考えるか、比較的容易なものや難しいものがあった。 調べ学習の時間・グループ発表の時間ともに、予定よりもかなり時間がかかってしまった。時間の余裕があまりないことも考慮して、調べる項目については、事前により具体的に絞り込んで提示するという方法を考えてもよかった。 			
アドバイス 及び 留意点	<p>①最近ではスマートフォン等の携帯情報端末で情報検索をする生徒も多いため、利用を許可するの可否は予め明確に示しておいた方がよい。今回に限っては、授業時間ではあるが、時間の短縮と生徒にとっての身近な情報検索ツールとしての意味から、携帯情報端末の使用を認めたが、授業規律の面から考えると難しい問題である。</p> <p>②調べるべき項目を生徒の実態に即してより適切なものに改変すると、より生徒の関心も増すとされる。</p>			
小中学校との 系統性	<p>①中学校・第3学年・話すこと・聞くこと</p> <p>ア 社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする。</p> <p>ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。</p>			

5 単元の学習概要

時間	各時間の目標	主な学習活動の流れと指導上の留意点	評価規準 ↓ 評価方法	状況Cの生徒への対応 ↓ 次時に注意すること
1	○本文の内容を読解する（1～2段落）。	<ul style="list-style-type: none"> 全体を段落分けする。【指ア】 本文の前半（1～2段落）の内容について、論理展開を整理しながら理解する。【指ア】 ③教科書の脚問に対する解答を作成する。【指ア】 *留意点 <ul style="list-style-type: none"> 「人間の価値観」がキーワードであることを意識させる。 	科学に限界があることを読みとることができる。【読】 ↓ 観察（発言） 点検（プリント）	板書をもとに補足説明を行う。 ↓ プリントを作成しているか、ノートをとっているか確認する。
2	○本文の内容を読解する（3～4段落）。	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容（3～4段落）の内容について、論理展開を整理しながら理解する。【指ア】 教科書の脚問に対する解答を作成する。【指ア】 	「シナリオ」という考え方を読み取っている。【読】 ↓ 観察（発言）	板書をもとに補足説明を行う。 ↓ プリントを作成しているか、ノート

		<ul style="list-style-type: none"> *留意点 <ul style="list-style-type: none"> ・「不確実性」がもう一つのキーワードであることを意識させる。 	点検（プリント）	をとっているか確認する。
3	○地球環境問題について調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表グループ（A）を編成し、グループ内で調べるべき項目を割り当てる。【言エ】 ・調べる項目が同じ者同士で調べ学習グループ（B）を編成し、それぞれの項目について協力して調べる。【指エ】【言エ】 <ul style="list-style-type: none"> *留意点 <ul style="list-style-type: none"> ・項目によっては情報が探しづらいものもあるので、より絞り込んだ事項を提示する。 	主体的に情報を収集し、グループ活動に貢献している。【関】【話・聞】 ↓ 観察（机間指導） 点検（プリント）	グループ内で協力して調べるよう促す。 ↓ プリントの記述内容を確認する。
4	○調べた項目についてまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に引き続き、各項目について協力して調べる。【指エ】【言エ】 ・調べた内容を各グループ（B）内で情報交換しつつまとめる。【言エ】 <ul style="list-style-type: none"> *留意点 <ul style="list-style-type: none"> ・次の第5時では時間の余裕がないため、早めに意見がまとまったグループから、各自で「シナリオ」を考える学習活動に入る。 	主体的に情報を収集し、グループ活動に貢献している。【関】【話・聞】 ↓ 観察（机間指導） 点検（プリント）	話し合いが円滑に進むよう、適宜助言する。 ↓ プリントの記述内容を確認する。
5 (本時)	○調べた事柄をもとに「シナリオ」を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までで調べた内容をもとに、グループ（B）内で各自が「シナリオ」を考える。【指エ】 ・発表グループ（A）に戻り、それぞれの論点から、各グループで想定される「シナリオ」を考える。【指エ】【言エ】 <ul style="list-style-type: none"> *留意点 <ul style="list-style-type: none"> ・時間に余裕が無いが、次の時間はグループ発表であることを生徒に伝えておき、発表方法の工夫まで考えさせられるとよい。 	地球環境問題について、様々な視点から話し合い、考察することができる。【関】【話・聞】 ↓ 観察（机間指導） 点検（プリント）	話し合いが円滑に進むよう、適宜助言する。 ↓ プリントの記述内容を確認する。
6	○想定される「シナリオ」を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各発表グループ（A）で、想定される「シナリオ」について発表する。【指エ】【言エ】 ・プリントにしたがって、各グループの発表をまとめ、振り返りを行う。 <ul style="list-style-type: none"> *留意点 <ul style="list-style-type: none"> ・発表用に、スクリーンやプロジェクターを用意しておく。 ・自分たちのグループとの考え方の違いを意識させる。 	地球環境問題について自分の考えをもち、グループ全体として意見をまとめることができる。【関】【話・聞】 ↓ 観察（発表） 点検（プリント）	他グループの発表を聞く際には、自分の「シナリオ」や自分のグループの「シナリオ」との相違点に着目させ、興味・関心を高める。

6 第5時の学習指導案

本時の位置	5時間目（全6時間）
本時の学習目標	<p>ア 地球環境問題について、収集した様々な情報を分析、整理して自分の考えをもとうとする。（関心・意欲・態度）</p> <p>イ 地球環境問題について、自分の考えを効果的に相手に伝えるとともに、様々な視点からの他者の意見に傾聴しつつ、グループ全体の考えとして一つにまとめる。（話す能力・聞く能力）</p>

事前の準備	①各自の「シナリオ」とグループの「シナリオ」をまとめるプリントを作成しておく。 ②調べ学習グループ (B) で事前に十分に調査しておくよう指示しておく。 ③調べ学習グループ (B) から発表グループ (A) に速やかに移行できるよう、机の配置を考えておく。		
	学習内容	学習活動	指導上の留意点及び評価
導入 5分	<input type="checkbox"/> 前時までの内容の確認 <input type="checkbox"/> 本時の学習箇所と目標の確認	①調べ学習グループ (B) で集まり、前時までで調べた内容を確認する。 ②本時のポイント (学習目標ア・イ) を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> グループ内で情報の交換と共有ができているかプリントを観察して確認する。
展開 40分	<input type="checkbox"/> 「シナリオ」の考え方を復習する <input type="checkbox"/> 各自で「シナリオ」を考える <input type="checkbox"/> 各自の「シナリオ」を発表する <input type="checkbox"/> 班の「シナリオ」をまとめる	③教科書とノートを確認し、「シナリオ」という考え方を自分なりに説明する。 ④前時まで調べた内容をもとに、グループ (B) 内で各自「シナリオ」を考える。 ⑤発表グループ (A) に戻り、各自の「シナリオ」を発表する。 ⑥様々な要素を考慮しながらグループとしての「シナリオ」をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 第2時のノートを見直すよう指示し、「価値観」「不確実性」がキーワードであることを確認させる。 各自の思考を深めることがこの活動の主眼ではあるが、敢えて調べ学習グループ (B) の形態で行うことにより、考えが詰まった時に意見交換しやすく、より効果的な学びができることを狙った。個人での学習活動にこだわらず、困ったときは周り積極的に交流するよう促したい。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>目標アに対する評価規準と評価方法</p> <p>〔規準〕 収集した情報をもとに、地球環境問題について自分の考えをもつことができる。</p> <p>〔方法〕 観察 (机間指導) ・点検 (プリント)</p> <p>〔状況Cの生徒への手立て〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 同じ項目を調べた、調べ学習グループ (B) 内で互いに意見を出し合うよう助言する。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えた「シナリオ」と比較しながら聞くよう注意喚起する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>目標イに対する評価規準と評価方法</p> <p>〔規準〕 地球環境問題について様々な視点から考察し、グループ全体の考えとして意見をまとめることができる。</p> <p>〔方法〕 観察 (机間指導) ・点検 (プリント)</p> <p>〔状況Cの生徒への手立て〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が調べた項目は、グループ内では誰も調べていないはずなので、まずは情報交換という面から話し合いに参加するよう促す。 </div>
まとめ 5分	<input type="checkbox"/> 本時のまとめと次時の予告	⑦本時のポイント (学習目標ア・イ) を再確認する。 ⑧発表準備 (役割分担など) について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 次時はグループ発表の時間なので、役割分担や資料を各グループで準備しておくよう指示する。(時間的な余裕があれば「展開」で発表準備まで入りたいが、おそらく難しいので、次時までの課題として指示する。)